

美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた
県民アイデア募集に係る意見への対応について

I 意見募集期間

平成 27 年 5 月 3 日（日）から 6 月 2 日（火）まで

II 意見提出状況

91 人の方から 238 件の意見をいただいた。

III 提出された意見への対応

全体

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>地方創生に向けた県民アイデア募集という重要な事について、知事が直接訴えるのではなくて、企画課が前面に出ているということに疑問を感じる。</p> <p>出された県民意見については、専用のブログをつくるなどして、ネット上に採否を公表し、決定のシステムも発表すべき。</p> <p>提言の提出期限が6月2日と制限されているのは納得できない。いったん打ち切るにしても、このような提言は年中受け付けるべき。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>人口減少・地方創生に向けた県民アイデア募集は、知事の意味の具体化を図るため、担当である企画課を窓口幅広く県民の皆様の声を伺う機会を実施しました。募集期間は、5月3日～6月2日を一つの区切りとしましたが、常時、すべての所属で県政に対する提言や要望を承っています。アイデア募集で頂いた意見については、別途実施した「長期人口ビジョン（素案）」及び「総合戦略（素案）」に係るパブリックコメントにおいて頂いた意見とともに、各担当部局で総合戦略への反映等を検討し、意見への対応を公表しています。</p>
<p>人口減少問題の原因、県がこれまで取ってきた対策を簡単にでも掲載して欲しかった。また、県民から出された意見、採択された意見とその実行スケジュール、予算額を閲覧できるようにした上、定期的にその進捗管理が見られるようにして欲しい。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>人口減少の原因や対策については、別途公表はしていますが、ご指摘のとおり、県民の方にわかりやすい広報に努めていきます。頂いた意見については、各担当部局で総合戦略への反映を検討し、その状況等を公表しています。なお、総合戦略については、毎年度、「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議」（本部会議・地域会議）により、進捗状況の評価や施策の見直し等を行い、結果を公表していきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>県民の声をもっとすくい上げて、開かれた県政のもと官民一体となった県民参加型の地域づくりを推進して欲しい。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>知事広聴、県政さわやかタウンミーティングなど様々な広聴活動を実施して、県民の意識・意向や意見・要望等を的確に把握し、県政に反映することにより、県民参加による開かれた県政を図っていきます。</p>
<p>各市町村へ転居届を出す際、窓口で簡単なアンケートをとる、追跡調査でどこへ転居したか調査する、静岡県民全体にも住みやすさなどのアンケートを実施するなどして、直接に県民の声を聞き取り、分析した上、転出防止に生かすことが必要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>昨年から今年にかけて、県内市町における住民の転出理由等を把握し、人口減少対策に関する施策検討の基礎資料とするため、転出者に対するアンケートを行いました。本県に転出入する当事者の声を聞き取ることは、人口減少対策を進めていく上で重要であることから、今後も各市町と連携し、アンケートの実施などを検討していきます。</p> <p>また、毎年度実施している県政世論調査において「静岡県の住みよさ」について意識調査を行い、年代別や地域別などの分析結果を県政に反映させていきます。</p>
<p>学識経験者や行政高官のみで「人口減少克服」について議論したり、提言やアイデアを出し合うことも良いが、子育て経験豊富な方々に、子育てのノウハウや体験について議論する場を設けてはどうか。県民の共感を得られるような提言やアイデアが出てくると思う。</p> <p>理想論ではない、現実的な提言やアイデアの宝庫は経験者の中にこそあると思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ今後検討</p> <p>子育て経験者、当事者の声を聞き取ることは、実態や課題を把握し、人口減少対策を進めていく上で重要であることから、アンケートの実施や議論の場を設けることなどを今後、検討していきます。なお、未来の主役である若者たちの声を積極的に施策に反映するため、県内出身・在住の大学生、社会人等で構成する「次代を担う若者たちによる県民会議」（仮称）を平成28年1月を目途に新たに設置します。</p>
<p>地域活性化策は、その地域毎の特徴、環境等によって違ってくるため、地域毎に検討委員会等を設置して議論をすると良いのではないかと。また、民間の力を活用することも重要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>人口減少に関する現状や課題、取り組むべき対策について、産業界・労働界・教育界・国・市町、若者・女性など各界・各層との共有を図り、地域ごとの異なる強みや特徴を活かした施策の検討を行うため、「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議 地域会議」を5圏域(伊豆半島地域、東部地域、中部地域、志太</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
	<p>榛原・中東遠地域、西部地域)ごとに設置し、地域の課題や特色を踏まえた施策の方向性等を明らかにすることで、圏域ごとの実情を踏まえた施策の検討・推進に取り組んでいます。</p>
<p>(地方創生の会議等の) 県関係の役職に就任する場合は、学歴や職歴とともに子どもの人数を明示すると良いと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>委員等の子どもの有無、人数については、個人情報に該当することから公表は難しいと考えますが、子育てをはじめ、各分野に精通した委員により構成される県民会議等を通じ、人口減少克服・地方創生を推進していきます。</p>
<p>県予算1%を削減により200億円を捻出し、うち100億円を人口減少対策に、100億円を借金返済に充てるよう毎年予算化してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>予算については毎年見直しを進め、メリハリのある予算編成に取り組むとともに、地方創生に向けた財政支援として国が創設した交付金を積極的に活用し、地方創生・人口減少に向けた取組を推進していきます（なお、県債の償還は義務的なものであり、予算を削減して行う性質のものではありません。）。</p>
<p>静岡県を「府」とした上で、公共施設の効率的管理・活用、駅周辺を核としたまちづくり(次世代型路面電車システム導入や機能の集約など)を一体的に進めてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>人口減少社会を踏まえ、政令市との二重行政の解消、権限の移譲、市町間での広域連携等、地方分権を一層推進する観点から、地域の特性を踏まえた県と市町の行政運営のあり方の検討を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-2(1)ア◆「場の力」を活かした魅力ある地域づくり(P152)】</p> <p>利便性が高く、将来にわたり健全な都市経営の持続が可能となるよう、居住や都市機能の適切な配置・誘導によるコンパクトなまちづくりと、地域公共交通の再編によるコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現を目指す旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)ア◆コンパクトなまちづくりの推進(P144)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>県の仕事は「こんなセミナーやっていますよ」というアピール以上に、「意欲のある人の仕事の障壁を取り去ること」だと思う。「県の条例を駆使して起業家を応援」とか「部署の縦割りのたらい回し撤廃」などをすべきで、プランナーやお金のかかるセミナーは不要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>部局間、市町・県の行政界にとらわれず、県を挙げて人口減少対策に取り組んでいきます。また、静岡県総合計画後期アクションプランや総合戦略に掲げる施策の進捗評価等を通じ、実際の成果の検証を随時行い、取組の見直しと実効性の高い施策への予算の重点化を図っていきます。</p>
<p>地域の活性化の主眼は、他から人を呼び込むことではなく、現在地域で生活している住民の暮らしやすさを高めることに尽きる。暮らしやすい、子育てしやすい地域には、自然に人が集まってくると思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>豊かな暮らし空間の実現、魅力ある教育環境の整備、地域に必要な生活交通の確保など、住民誰もが暮らしやすい地域づくりのための各施策に取り組むことにより、転出防止を図るとともに、その魅力を発信することにより流入人口の増加にも取り組んでいく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(1)ア◆豊かな暮らし空間の創生(P64)、3-3(1)イ◆地域で支える教育の推進(P97)、5-1(3)ウ◆地域に必要な生活交通の確保(P149)など】</p>
<p>県外に出た若者に地元に戻らない理由を聞くと、仕事の募集がない、子どもの医療費負担が大きい、交通が不便、大学が選べないなどだった。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>本県における社会減は、20歳代～30歳代といった働く世代や若年女性、15歳～19歳の若年層が占める割合が大きくなっていることから、これらの若年層の流出を抑制し、本県に呼び込むため、安定した雇用の創出や女性が活躍できる社会の実現、魅力ある教育環境の整備、子育て支援の充実等を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【総合戦略2～4各施策】</p>

意見	意見への対応
<p>子育て支援の優遇策だけで他所からの流入を促進すべきではなく、対症療法でない根本的な改善策を探り出さなければならない。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>富士山をはじめとする豊かな自然、東西交通の要衝として培ってきた歴史、文化、産業集積など、本県が持つ「場の力」を磨き高め、魅力の最大化を図るとともに、他の自治体との差別化により、本県の魅力や特性を踏まえた対策を構築していく旨を人口減少対策の基本的視点に掲げ、人口の自然減と社会減に歯止めをかけるための取組を推進していきます。</p> <p>【美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョンⅡ 2. 人口減少対策の基本的視点(P26)】</p>
<p>未来へ輝く静岡県として、他自治体、さらには世界の模範となるような大胆で柔軟な画期的施策を打ち出して欲しい。</p> <p>「静岡県はひとつ」を合言葉に、「生涯学習県」、富国有徳の理想郷として志を同じくし、知恵団結し、世界に発し続けなければならない。</p>	<p>⇒意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>人口減少を克服し、地方創生を実現するためには、幅広い県民の参画と協働による施策の推進が重要です。このため、産学官金労言等の各界・各層で構成する県民会議（本部会議、地域会議）などにより、様々な方の意見を取り入れながらオール静岡で施策を推進していきます。</p> <p>【美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン】</p> <p>【美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略】</p>

1 「命」を守り、日本一「安全・安心」な県土を築く

意見	意見への対応
<p>「防災」ではなく、震災後どのような復興を実施するのかを発表することで、震災後どうなるかわからないという不安を少しでも解消し、不安による転出を防ぐとともに、転入者の不安を払拭する必要がある。</p> <p>東南海地震など一気に起きた際などは、国は首都圏を中心に復興するはずなので、県としてどこまで独自にできるのか限界を知るべき。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>自然災害等への不安の払拭に向け、昭和 50 年代から現在まで実施した 2 兆 2,000 億円余の地震・津波対策をはじめ、国の新たな被害想定に対しても地震・津波対策を全国に先駆けて実施するなど、本県が安全で安心な地域であることを積極的に県内外の企業、県民に情報発信する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>また、広域災害に備えるため、命や被災後の県民生活を守ること及び迅速・着実な復旧・復興を基本目標に掲げる「静岡県地震・津波対策アクションプログラム 2013」に基づき、広域受援体制の充実強化、自助・共助の取組を推進していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【1-1(1)ア◆大規模地震・津波災害や火山災害対策等の推進(P16)、 1-1(1)イ◆防災・減災と地域成長の両立を目指す地域づくり(P22)、 1-1(1)ウ◆防災先進県としての情報発信(P23)】など</p>
<p>人を呼び込む前提として、津波、地震対策をしっかりとし、安心・安全な地域とする必要がある。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>建物の耐震化、防潮堤などの津波を防ぐ施設整備、津波避難タワーなどの津波避難施設の整備、地域の海拔や避難場所などを容易に自覚し、認識できる表示の普及による迅速かつ的確な避難の促進を図っていく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【1-1(1)ア◆大規模地震・津波災害や火山災害対策等の推進(P16)】</p>
<p>大規模災害の際の被災動物の避難場所の検討・設置が必要だと思う。小規模であっても、飼い主が通うことができる距離に設置することが必要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>県では、災害時に飼い主とペットの同行避難が的確に実施されるよう「災害時における愛玩動物対策行動指針」を本年 3 月に策定しました。この指針に基づき、ペットの受入れが可能な避難所の設置及び体制整備を市町と連携しながら進めていきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>インフラの維持管理は、非常に重要。先日、東北新幹線で架線の事故があったが、事前にリスクや危険を見抜く力が不可欠だと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>県では、県民生活の安全を持続的に確保するため、「静岡県公共施設等総合管理計画」を策定し、インフラ資産の長寿命化に向けて取り組んでおり、公共施設の「現状把握のための点検」、「点検結果の分析・評価」、「中長期管理計画の策定」及び「計画に沿った点検や補修」等により、施設を適切に維持管理していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-2(2)イ◆インフラ資産の長寿命化(P157～158)】</p>
<p>大規模災害の被害が最小限に止まる可能性を秘めた地域への建築等を認める市街化調整区域の見直しが必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>市街化調整区域において建築等が必要と認められる場合には、現行制度(市街化区域拡大(県)、地区計画及び開発許可(市町))を活用することにより対応していきます。</p>
<p>耐久性があり、頑丈で燃えにくい建築物を推奨・促進するための助成制度等を確立する必要がある。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた「長期優良住宅」の普及を図るため、税制上の優遇措置(住宅ローン減税、不動産取得税の減額など)や住宅ローン優遇制度の周知を図っていきます。</p>
<p>原発については、取水口が使えなくなった場合の炉心冷却方法の確保、テロや事故への備え、放射能汚染廃棄物の処理方法などの安全性の問題がクリアになってから再稼働させるべき。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>浜岡原子力発電所は、現在、原子力規制委員会による新規規制基準への適合性の審査中であり、使用済核燃料の保管場所の容量に限界がある上、その処理対策が確立していないなどの課題があるため、現時点で再稼働について議論できる状況にありませんが、原子力発電所については、安全の確保が何よりも重要であることから、事業者に対して安全対策の更なる充実を求めています。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>放射性廃棄物の処理方法を検討し、将来の産業育成へつなげてはどうか。</p>	<p>⇒現状では課題があり、対応困難</p> <p>放射性廃棄物は、原子力発電所の運転などに伴い発生する低レベル放射性廃棄物と、使用済燃料の再処理に伴い再利用できないものとして残る高レベル放射性廃棄物とに大別されます。放射能レベルなどに応じた適切な処理・処分が厳しく求められ、処理・処分方法の確立は、原子力発電そのものに係る大きな課題であることから、国及び関係事業者等による研究・検討を注視して参ります。</p>
<p>コストが安く温室効果ガスを排出しない原子力発電の活用は資源の少ない日本にとって不可欠だと思う。原発関係の就労人口も5,000人近く、中小零細企業も電気料が下がれば助かると思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>浜岡原子力発電所は、現在、原子力規制委員会による新規規制基準への適合性の審査中であり、使用済核燃料の保管場所の容量に限界がある上、その処理対策が確立していないなどの課題があるため、現時点で御意見の内容を具体的に検討できる状況にありません。なお、原子力発電には、二酸化炭素の排出がない、雇用の創出というメリットがありますが、事故というデメリットもあることから、事業者に対して浜岡原子力発電所の安全対策の充実等を要求するとともに、富士山静岡空港隣接地へのオフサイトセンターの移転整備、避難計画策定、原子力防災訓練等を実施する等、事業者、関係市町とともに安全対策の充実を図っていきます。</p>
<p>県が指定する河川の指定区域から、県民に石を集めてもらい各自治体で買い取り、石を防波堤や土砂崩れ防止用に利用してはどうか。</p>	<p>⇒現状では課題があり対応困難</p> <p>現在、河川から採掘した土砂等を養浜事業等の資材として利用しており、県民一人ひとりから、極少量の石を自治体で買い取るという提案は、効率性の観点から、自治体事業として現状では制度設計上、実現は難しいと思われます。</p>

2 誰もが活躍できる、安定した雇用を創出する

意見	意見への対応
<p>人口減少は農林水産業の衰退が招く構造的問題であり、農工間の不均等発展を解消する必要がある。さらに、安全な食糧自給率の向上には何が必要かを考え、施策を策定することが重要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>他産業からの新規就農や企業の参入を促進するとともに、企業的経営を実践する「ビジネス経営体」を育成し、農業分野の雇用拡大を図っていく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)】</p>
<p>遠隔地農業、ネットによる販路拡大など、一次産業にも新しい手法を取り入れていくことが必要だと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>新たな食と農ビジネスの創出に向けて、施設園芸の環境制御など ICT を活用した生産技術の高度化への取組を総合戦略に位置付けました。また、ネット販売や移動販売車等による販路拡大を支援していきます。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)】</p>
<p>講習会、イベント、交流会などを開催し、有機栽培・無農薬エコファーマーの育成支援を行ってはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>エコファーマーの認定を推進するとともに、有機農業の取組への支援に引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>焼津の「夢咲牛」は、熱海では買えない。静岡県内で生産される特産物の県内流通を妨げている素因があるのであれば、それを解消することが必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>「夢咲牛」をはじめ、ブランド牛の生産振興に努めるとともに、ふじのくにブランドの情報発信による知名度向上に取り組んでいきます。</p>
<p>新東名高速道路PA等における地場産品の販売を促進する必要がある。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>本県の強みである多彩で高品質な農産物を活かしたふじのくにブランドの情報発信による県産品の知名度向上や販路開拓に取り組んでいきます。</p> <p>【2-1(2)イ◆6次産業化による高付加価値化の推進、ふじのくにブランドの推進(P39)】</p>

意見	意見への対応
<p>世界企業(多国籍企業)だけの発展だけでは、ロボット化や海外生産が進み国内労働力は不要になる。国内生産に依拠する農林水産業や中小企業が発展できるための施策を講じる必要がある。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>本県の農業を将来にわたって発展させていくため、本県の強みである多彩で高品質な農産物を活かし、ふじのくにブランドの効果的な情報発信により、国内や海外の需要を掘り起こすとともに、農業生産を構成する「人材」、「基盤」、「技術」の3つの視点から、生産現場の強化を図ることを総合戦略に位置付けました。</p> <p>また、国内生産ならではの利点を活かした水産物供給を支援していきます。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)】</p> <p>さらに、県内産業支援機関と連携しながら中小企業の生産性向上を支援していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)エ◆新事業の創出及び中小企業の生産性向上の支援(P36)】</p>
<p>静岡といえばお茶。学校給食で、食後に、お茶を一人一杯ずつ飲むようにすると食事時のお茶の習慣がつくのではないか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>学校給食の実施主体である市町教育委員会等と連携しながら検討していきます。</p>
<p>手軽に飲めるティーバックのお茶の普及や料理で葉っぱごと食べられるように処理した茶葉の開発がお茶の普及促進に有効だと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>6次産業化による高付加価値化の推進、新技術の開発・導入等の促進などによる新たな食と農ビジネスを創出していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)】</p>

意見	意見への対応
<p>県内にはお茶の産地が色々あり、産地によって種類が違えば水も違う、よって味や色も異なる。それぞれのお茶の特色を知ってもらうために、ワイナリーツアーならぬ「ティーナリーツアー」があったらおもしろいと思う。そのために、県には「お茶ソムリエ」を養成・各地に派遣し、静岡茶の優れた効能とそれぞれの特徴を発信して欲しい。世界的なお茶ブームの中、その産地として県の観光事業にお茶を活用してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>「茶」の都づくりの推進や戦略的な海外展開、6次産業化による高付加価値化の推進に取り組んでいく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)】</p> <p>また、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」など、お茶を含む地域の魅力ある資源を活用した観光地域づくりを推進していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆世界水準の魅力を核とした観光地域づくり(P76)】</p>
<p>県外に進学した学生に対し、静岡県で就職し、5年間働いたら返済を免除するような給付型奨学金を創設すれば、就職時に静岡県に戻ってくる若者が増えると思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>奨学金の費用負担のあり方、個人への課税、就職先の調整など実施に当たって課題が多いため、慎重に検討するとともに、地域企業との連携による、より効果の高い人材確保策を検討していきます。</p>
<p>卒業後の5年間は県外就職しない等の条件のもと、大学在学中の学費や生活費の助成金を検討してはどうか。</p>	
<p>生活できるだけの収入を得られることが、定住への絶対条件であり、働く場所を確保することが必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>しずおか就職net（就職支援サイト）により企業情報を提供していくほか、今後、大きな成長が見込まれる食品や医療関連の「健康産業」を対象とした「健康産業雇用創造プロジェクト」に取り組むなど、新たな雇用を創出していきます。</p> <p>【2-1(1)ア◆成長産業分野への進出支援(P30)】</p>

意見	意見への対応
<p>保育士、介護職従事者は、賃金が低い上に過酷労働の場合が多く、若者の定着率が低い。これらの人材を確保するため、賃金や待遇を向上させる必要がある（同施設で3年勤務した者は、手取り25万円以上とするなど）。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>保育士については、労働負担軽減のための保育支援者の配置や、経験に応じた給付費の加算などを活用し、職場定着を図っていきます。</p> <p>また、介護職員については、能力、資格、経験に応じた給与・処遇体系を定めるキャリアパス制度の導入を支援するとともに、待遇改善による職場定着の促進を図っていきます。</p>
<p>地方税を無料にするなど、好条件をつけ企業誘致をし、住民、税収を増やす仕組みをプロジェクト化する。流入人口が増え、子どもが地域で育つことで、将来に向けた定住効果が期待できる。特に静岡の場合は、地元志向の人も多いと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>国内外からの優良企業の立地や県内既存企業の投資を促進するため、本県の立地優位性をPRするとともに、企業の生産活動に関わる規制緩和、立地支援制度の拡充等により、本県での操業環境の更なる改善と投資意欲の喚起を図っていく旨を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>人口の確保と税収の増加には企業誘致が何よりも効果的だと思う。アジアへ生産拠点を移した企業が、最近では歴史的問題や治安の悪化、衛生面などを懸念して、再度日本での生産を考えるメーカーもあると聞く。移転や新設を考える県外企業に対する土地の提供や補助金支給、法人税の一部控除など、静岡県としての優遇措置をしてはどうか。</p>	<p>【2-1(2)ア◆企業立地の促進に向けた本県の優位性の創出(P37)】</p> <p>また、高い防災力や大都市圏とのアクセスの良さ、自然と生活が調和した住空間など、本県の優位性を生かし、企業の本社機能の移転等を促進していく旨を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>東京及び大都市一極集中が進み、都市と地方の人口、経済格差が顕著に現れている。大都市一極集中の是正策、地域振興策として企業の地方移転を促進する「本社・本店のお里帰り振興政策」、企業誘致を推進してはどうか。</p>	<p>【3-1(1)エ◆新たな受入の促進(P69)】</p>
<p>補助金交付、優遇税制、地域の人材を採用した場合に補助金を支給するなどの支援を行い、県外からの企業誘致を推進していく必要がある。</p>	

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>宇宙開発関連企業、軍需産業、ロボット開発企業などハイテクノロジーをもつ企業を1社でも多く誘致して欲しい。30年後にはハイテクノロジーの進化により多くの企業の形態が様変わりすることから、特に30年後に成長しているであろうと予想される業界の企業には是非、県内に拠点を作って欲しい。</p>	
<p>本田財団（HONDA）が、次世代のけん引役を果たしうる新たな知見をもたらした個人、グループに対し表彰し、賞金を授与するという取組をしている。県内企業のこのような賞に県としても協賛し、受賞者が創業する際には静岡に来てもらえるよう働きかけてはどうか。</p>	
<p>本年4月に富士市に県内産木材を原料とする大規模合板製造プラントが操業を開始した。県内には、豊富な木材資源があることから、国も普及推進を検討しているCLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）の製造工場を中部・西部に誘致してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討 合板工場などの木材加工施設への丸太の供給を着実なものにするための取組を進めています。また、CLTの利用に関する情報の収集とともに、県内生産の可能性の研究など、CLTの導入について検討していきます。</p>
<p>生産拠点が海外に移転している現状では、雇用を安定させるため、県内で新規産業を開発し、起業を支援する取組が必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映） 創業前の相談、専門家によるアドバイスの提供、販路開拓など、ベンチャー企業の起業や事業化を支援していく旨を総合戦略に位置付けました。また、次世代自動車、航空宇宙産業、医療・福祉機器、ロボット、環境、光など成長産業分野への地域企業の参入促進やCNF（セルロースナノファイバー）の製品（用途）開発を推進していく旨を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>大学で学んだ事が活用できる企業があれば、大学卒業後の若者の他県への流失を防ぐことができる。現状の産業構造を守るだけでなく、新産業の育成、働き方の多様化など若者の受け皿を増加させることが必要。</p>	<p>【2-1(1)エ◆新事業の創出及び中小企業の生産性向上の支援(P36)、2-1(1)ア◆成長産業分野への進出支援(P30)】</p>

意見	意見への対応
<p>ロボット開発を進める県内企業と大学の理工系・工業系学部とのタイアップを含め、県内で培われた技術とノウハウを集結して主力産業として成長させる、医療分野での新たな理論や新薬の発掘等研究開発を県がバックアップしていくなど、新たな産業分野の開拓が必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>次世代自動車、航空宇宙産業、医療・福祉機器、ロボット、環境、光などの新たな成長産業分野への参入支援や産学官連携による事業化支援などにより、新たな産業の創出に取り組む旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)ア◆成長産業分野への進出支援(P30)】</p>
<p>富士市松野地区には、標高2～400mの丘陵地帯に東西3km、南北5kmにわたり厚さ最大150m、砂利埋蔵量約4 t、体積5億m³に達する礫層が埋蔵されている。全国的に見て碎石骨材より利点の多い砂利骨材埋蔵地は希少価値を有することから、この地域における山砂利採掘事業を可能とすることを提案する。これにより長期にわたる地域の雇用の確保を実現できるとともに、現在問題となっている防潮堤整備のための土砂不足を解消できる。また、砂利採取後の跡地を災害廃棄物の仮置き場として活用できる。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>採石業者として登録された事業者が、砂利採取計画の認可の事務手続きを県土木事務所にて行うことにより、現状でも同地区で山砂利採掘事業は可能です。</p>
<p>魅力と元気のある企業をもっと増やし、若者が静岡県の企業に就職したいと思えるような環境をつくる必要がある。</p> <p>具体的には、県の審査を通過したベンチャー企業が公開プレゼンをし、応援したい企業があれば個人、少額でも出資できる仕組みをつくり、県を挙げて企業を盛り上げていく。魅力のある企業増加→雇用増加→税収UP→子育て支援・高齢者支援のサービス向上という好循環につながるのではないかな。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>地域における新事業の創出を支援するため創業前の相談、専門家によるアドバイスの提供、販路開拓など、ベンチャー企業の起業や事業化を支援していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)エ◆新事業の創出及び中小企業の生産性向上の支援(P36)】</p>

意見	意見への対応
<p>貴重な文化とも言える県内の伝統産業・技術の承継、後継者育成の支援にも力を入れていくべき。外国よりも優れ、独自性のある県内の伝統産業だが、廃業に追い込まれたり、収入が低く、家族もつくりえない、後継者不足などの苦境にある。</p> <p>伝統産業の職人たちは、高齢化も進み、資本もないため、国内外に向けたマーケティングの支援をはじめ、産業を維持・発展させていくための支援が必要。産業の発展、静岡の魅力の発信のためにも、若い職人やベテランの職人の意見や思いを実際に聞きながら、県内の伝統産業を保護し、発展させていくための取組が重要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>伝統工芸品の良さを広めるため、県内外の展示会等への出展による情報発信・販路開拓、消費者のニーズに合った製品の開発などを支援していきます。</p>
<p>県内の織物を使ったエコバック、竹細工を使ったかごバック、染物を使ったTシャツやスニーカー、帽子など、地域に根付く伝統技術を用いた静岡ブランドを立ち上げ、まちおこしをしてはどうか。特産品を県外へ発信していくのと同時に伝統技術を体験するワークショップを開催し、県内の伝統を県民も見直せる機会があると良いと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>清水港が国際拠点港湾に位置付けられ整備が進むなど、東京・横浜・名古屋港などをカバーする重要な港湾としての役割を果たしており、港湾の積極的活用を推進することで、本県の経済・産業を支えていく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>また、県、経済団体、物流会社及び航空会社で構成する「富士山静岡空港航空貨物利用促進協議会」で航空貨物利用を官民一体となって促進し、航空貨物輸送実績の積み上げに取り組むことで、物流機能の向上を図っていきます。</p> <p>【2-1(2)エ◆生産から消費までのモノの流れの視点による新産業の創出と地域経済の活性化(P44)】</p>
<p>太平洋に大きく面する県の利点を活かして、横浜・東京・名古屋をカバーする港湾の建設、整備を進めてはどうか。</p>	
<p>貿易の点において静岡空港や清水港の積極的な活用を推進して欲しい。本県は、東名高速道路、新東名高速道路により交通アクセスに恵まれており、空・海の玄関を強化することで物流面のスピードアップが大いに期待できると思う。</p>	
<p>静岡空港の貨物便専用機を増やすことで、空港周辺への工場進出につながると思う。</p>	

意見	意見への対応
<p>清水区の折戸湾開発計画について、湾奥地の利用促進を図るため、湾の表層淡水化が有効だと思う。田子の浦港は、水面下2メートルが淡水化しているが、これにより船にフジツボが付着しにくくなるなど係留船舶の傷み防止や管理が容易になるなどの利点がある。</p> <p>折戸湾に巴川を引き込むなどして湾の表層淡水化を図り、マリーナ整備をすれば、個人の船舶のみならず、船舶メーカーや管理会社の船の係留をも誘致することができる。また、マリーナを利用して高校にヨット部などをつくり、特色ある学校づくりにつなげれば、学生を呼び込むこともできる。他地域のマリーナとの差別化を図ることにより、船、人、資本を呼び込むことができる。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>清水港の整備構想が描かれている「駿河湾港整備基本計画」では、折戸湾の将来像は、「自然環境再生ゾーン」、「緑地レクリエーションゾーン」、「船だまり関連ゾーン」と位置付けられています。この方針を踏まえ、折戸湾の新たな活用方法については、今後、産官学・市民協働により折戸湾の具体的な利活用計画を策定していくこととしており、この中でマリーナ整備や民間・学校等との連携も検討していきます。</p>
<p>高齢者の健康維持のためには、適度な運動や労働が有効。高齢者向けの短時間労働やシェアできる勤務形態を用意してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>シルバー人材センターが取り組む地域社会活動を推進することにより、高齢者の生きがいの充実を図る旨を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>シルバー世代はこれからどんどん働く時代。自宅で過ごすだけでは、認知症を発生しやすく、自立期間も短い傾向にある。様々な特技をもつシルバー世代も多く、地域で活躍してもらうために、シルバー人材センターにより多くの支援をして欲しい。</p>	<p>【2-2(2)ア◆地域での活躍の場の創出(P57)】</p> <p>また、熟練の技能者を活用するため、「静岡県技能マイスター」や「熟練技能者派遣」を制度化し、小中学校での出前講座や工業高校での実技指導などを行っており、今後も人材育成を図っていきます。</p>
<p>定年退職後の再雇用や熟練した技能・知識の活用を促進するための制度を整備する必要がある。</p>	

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>女性が年齢に関係なく長く活躍できる分野として、医療分野は有効だと思う。県がその医療従事者を育成する機関を増設したらどうか。他県から学生を流入させ、将来的にはその学生の県内就職に結び付けることにもつながると思う。40代以上の女性が社会で長く活躍していけるような環境の整備と、企業における女性活用の理解の促進に取り組んで欲しい。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>女性の活躍を促進するため、継続的に女性の活躍を応援し、加速化させるための新たな仕組みを構築するとともに、女性の就業支援、女性自身の能力向上やキャリア意識の醸成、男性企業経営者等の意識改革を図る取組を実施する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-2(1)ア◆女性の就業支援(P54)、2-2(1)イ◆女性の登用促進(P55-56)】</p>
<p>女性の雇用につき、どのように対応したら良いかのモデルをつくったり、相談に乗って企業を指導するような総合的なワンストップ窓口が必要である。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>一般事業主行動計画策定推進員派遣等による仕事と子育ての両立支援や、アドバイザー派遣等によるワーク・ライフ・バランスの促進に取り組んでいく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-2(1)ア◆女性の就業支援(P54)】</p>

3 “ふじのくに” ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる

意見	意見への対応
<p>市街化調整区域の見直しをすることで、土地の流動性を高め、他の都道府県からの投資、人の移転を活性化させると良い。</p> <p>浜松市・浜北区では、市街化調整区域の線引きによって、土地活用が難しく、他地域からの移住ができない地域がある。行政として非効率的な地域の線引きを修正することで、土地・人の流動化を図ることができると思う。</p>	<p>⇒意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>市街化調整区域の見直しについては、定期的（おおむね5年ごと）に行っている土地利用の動向や公共施設整備状況などの調査結果、市町の施策等を踏まえ、線引きの修正など、必要に応じた対応を行っていきます。なお、浜松市（政令市）においては都市計画のすべての権限が市に移譲されているため、対応については政令市とも調整を図っていきます。</p>
<p>転住・定住希望者のためのパンフレットを作成し、キャンペーンガールを公募してPR活動をしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等により、情報発信を強化していく旨を総合戦略に位置付け、パンフレット作成とともに、キャンペーン等のPR活動を含め、本県独自の手法や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入を検討していきます。</p> <p>【3-1(1)ウ◆相談・受入態勢の充実(P67)】</p>
<p>他県からの移住者を増やすことが大事だと思う。他県から引っ越ししてきた人(特に若者)に、一定期間の税制優遇などの支援を実施し、定住化を促すなどの取組が必要。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、本県独自の取組や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入を検討していきます。</p>

意見	意見への対応
<p>地域の魅力の発信とともに、空き家の活用、体験型ショートステイ等により、Iターン・Uターン希望者を募ってはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>全国に向けた魅力発信サイトを開設するとともに、当該サイトを核にしたプロモーションキャンペーンやマスメディアと連携した情報発信等による静岡県の魅力発信の強化や、移住体験ツアーの実施等の地域の特性を活かした取組により、移住希望者の理解促進を図っていく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆ふじのくにの魅力の情報発信の強化(P82)、3-1(1)ウ◆相談・受入態勢の充実(P67)】</p> <p>県・市町・民間団体等が連携して、具体的な空き家の活用方策や流通促進に取り組むとともに、不動産関係団体との連携・協力、掲載対象区域の拡大、検索機能や掲載情報の充実などによる空き家バンクの拡充により、空き家の活用を促進していく旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(1)イ◆空き家の活用・流通促進(P66)】</p>
<p>県内の空き家、空き店舗、空き工場を活用して、申込者に貸す、あるいは売却することも考えてはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>県・市町・民間団体等が連携して、具体的な空き家の活用方策や流通促進に取り組むとともに、不動産関係団体との連携・協力、掲載対象区域の拡大、検索機能や掲載情報の充実などによる空き家バンクの拡充により、空き家の活用を促進することを総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(1)イ◆空き家の活用・流通促進(P66)】</p>
<p>空き家を活用した安価な住居の提供により、流入者受け入れを促進してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、空き家の活用をはじめとする、移住促進策について、本県独自の取組や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入を検討していきます。</p>
<p>里山移住のために住宅・農地を無償貸与し、定住の場合購入できるようにするなどの制度をつくってはどうか。</p> <p>近県の中高齢層に「体験農園」を貸し出し、休耕畑の利用をするなどして移住者の誘致をしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、空き家の活用をはじめとする、移住促進策について、本県独自の取組や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入を検討していきます。</p>

意見	意見への対応
<p>後継者のいない農林水産業、工場、商売を引き継ぐ事を条件とした起業移住者募集を検討して欲しい(起業移住者への事業の斡旋、事業費用の返済猶予制度、経費の一部支援など)。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>移住者を事業の後継者として期待することは、移住者の選択の幅を広げるという意味でも効果的であるため、今後、県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、起業移住者募集などの支援策も視野に入れ、本県独自の取組や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入を検討していきます。</p>
<p>一定期間(35年ほど)住む事を条件に全国に向けて土地を安価で売り出せば、地震が心配な海岸地帯からの転居、福島など東北からの移転など多くの人移住し、人口増につながると思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町及び関係団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、条件付の安価な土地の売買など、本県独自の取組や、他自治体等が取り組む実効性が高い先進事例の本県への導入の可能性を検討していきます。</p>
<p>看護学校、療養型リハビリ施設などを誘致してはどうか(施設では、地域の食材を生かした食事の提供など地域に密着した自立支援を行う。)</p>	<p>⇒現状では課題があり、対応困難</p> <p>県内には、看護系大学5校、看護師養成所16校(助産師養成4課程を含む。)及び准看護師養成所1校があります。</p> <p>教育時間の約3分の1を実習が占める中、既設の養成所においても、実習施設の確保に苦慮している状況にあることから、看護学校の誘致は難しい状況にあります。</p>
<p>お年寄りが生活しやすい高齢者施設をつくり、他県からの移住者を呼び込んではどうか</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>アクティブ・シニアが退職後等に地方に移住し、健康時には生きがいを持って地域で活動し、終末期には継続ケアを受けながら老後を過ごす「日本版CCRC」の本県への導入検討を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>住居、生活サービス、介護、看護、医療サービスなどを総合的に提供する施設を戦略特区としてつくってはどうか</p>	
<p>首都圏で大量発生する定年後の高齢者層の受け皿として、気候、景観に恵まれた静岡へのロングステイ、移住を推進する施策を推進する必要がある。これらの人たちが県内移住してくれば、子や孫が祖父母を訪ねて静岡を訪れ、そこに新しい需要が発生することにより関連する様々な事業の発展も期待できる。</p>	<p>【3-1(1)エ◆新たな受入の促進(P69)】</p> <p>「ふじのくにに住みかえる推進本部」を構成する県、市町及び関係団体等の連携による、高齢者層を含む移住者の受入態勢の充実に向けた取組の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(1)ウ◆相談・受入態勢の充実(P67)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>静岡県は東京圏、名古屋圏へ新幹線で通勤可能な地域であることから、通勤費用の補助などにより、同地域のベッドタウンとして人口増加を図ることが有効である。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町及び関係団体等で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」等で、通勤費用の補助など、高速道路や新幹線等の利便性の高い交通インフラや立地などを活かした取組を検討していきます。</p>
<p>他県から家族3人以上で永住目的で来た人で他県に通勤する人や、通勤距離が100kmを超える人には、会社が支給する通勤手当とは別に手当を支給してはどうか。</p>	
<p>人口増に向けて、海外移住者の増加に取り組むことが有効だと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>グローバル化が進み、人の国際移動も活発になる中で、移民政策ではなく、本県の活力を維持するために日本人県民、外国人県民の誰もが活躍できるような環境づくり、地域の国際化に取り組んでいくことを総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(2)ウ◆誰もが住みやすく活躍しやすい環境づくり(P91)】</p> <p>【5-1(2)ア◆地域の国際化の推進(P143)】</p>
<p>静岡県として、県民＝外国人も含めた住民と考えているのか、総合戦略において示して欲しい</p>	
<p>外国人の定住化を進めれば、日本人の雇用が奪われ、治安の悪化により日本人住民が流出し、人口減少対策として真逆の結果を生むことになる。県として外国人の定住によるリスクをどのように認識しているのかを示す必要がある。</p>	
<p>人口減少についての観点からの多文化共生推進に反対。外国人も住みやすい環境づくりの前に自国民、県民のためにする事があるのではないか。</p>	
<p>文化の違いもあり、治安の悪化により観光客が減少してしまうため外国人の誘致施策には慎重であるべき。</p>	
<p>「外国人の定住を促す」という方針をやめるべき。移民施策により、雇用の減少、サービスの低下、賃金低下、治安の悪化など、住環境が悪化して、元から住んでいた日本人住人が引っ越し、社会不安の原因</p>	

意見	意見への対応
<p>になりかねない。まずは、日本人人口を増やすための政策を進める必要があると思う。</p>	
<p>地域活性化や地域経済の成長は、移民や外国人労働者に頼らずとも十分可能。移民や外国人労働者受け入れは、地域を外国人自治区化させ、治安の悪化や違法な生活保護受給等の問題を生むなど、不可逆的なリスクがある。</p>	
<p>外国人の受け入れは、文化面での摩擦や犯罪率の増加、治安の悪化による日本人の県民の流出、外国人に日本語を習得させる費用や社会保障費用の問題など地方創生とは程遠い結果になってしまうと思う。</p>	
<p>不正な目的での国籍取得や短期就労をする外国人がいる。外国人は別枠で、国民健康保険や生活保護のような制度を設けるか、母国の制度を日本国内で使えるようにして欲しい。また、就労目的で来日する外国人達にはその職場での福利厚生を整えるよう県から指導をして欲しい。</p>	
<p>住人の定住には安心と安全は不可欠。外国人が多い地域では、外国人による犯罪が多く、子どもを安心して外で一人では遊ばせることができない。外国人を移民させて人口増加させるという考えは短絡的であり、今後様々な新たな問題を生み出す。日本人が住みやすく、外国人観光者が楽しめるような県を目指し、外国人移民者を定住させるような政策は止めて欲しい。</p>	

意見	意見への対応
<p>外国人が静岡の生活に馴染めるよう言語の習得、生活のルールを学習した後に静岡に住んでもらえれば良いと思う。留学生なら日本人学生アルバイトをつけて習慣を学ばせる、外国人労働者にはマナー、言語が学習できるよう企業と協力して教育機関を設ける必要がある。静岡で就労し、出産した場合、子供の言語教育（母国語・日本語）も行えると良いと思う。</p> <p>日本語をマスターしている場合は日本人と同様の賃金を出すような制度があると良い。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」を通じた、留学生と地域社会との交流等の滞在中のサポートや、リクルートから帰国後のフォローまでの「入り口から出口まで」の一貫した留学生支援の一層の充実を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(2)イ◆留学生の受入体制の強化（P90）】</p> <p>外国人県民に対するやさしい日本語での生活情報の提供などのコミュニケーション支援を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(2)ウ◆誰もが住みやすく活躍しやすい環境づくり（P91）】</p> <p>県と経済団体が協力して平成24年2月23日に策定した「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」（適正雇用のほか、日本語や日本の慣習理解、地域参画、子への親としての責任履行の促進など記載）の普及と企業の取組の促進に努めていきます。なお、国籍を理由とした賃金等の差別的取扱は違法です。</p> <p>また、「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」では、留学生に日本の生活習慣や文化に触れてもらうことを目的として、日本人のホストファミリーを訪問するホームビジットやビジネス日本語を教える就活支援講座の開催を実施しています。</p>
<p>転勤族が静岡に赴任してまず驚くのは、家賃、物価の高さ。</p> <p>本県には大企業の支店、営業所、都市銀行の支店等があり、全国転勤の社員、行員も多いことから、彼等に、静岡県に暮らしてみても、良い点、悪い点を挙げて貰い（アンケート等で）、他から見た静岡県を評価して、社会減を少なくするための参考にし、魅力ある静岡県づくりに生かしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>県内市町における住民の転出理由等を把握し、人口減少対策に関する施策検討の基礎資料とするため、転出者に対するアンケートを行いました。本県に転出入する当事者の声を聞き取ることは、人口減少対策を進めていく上で重要であることから、今後、各界と連携し、外から見た静岡県の評価を行い、施策の改善につなげていきます。</p>

意見	意見への対応
<p>「仕事と家庭を両立できる職場づくり」とあるが、1つのことをや って、ゆとりができたなら2つ目のことを、というように生きた方が夫 婦お互いに失敗がないと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>御意見にある生き方も、夫婦の人生の選択肢の一つであると考えますが、仕事と 家庭の両立の意向がありながら、職場における長時間労働により、家庭での家事・ 育児・介護の役割を担う時間などがないことに悩んでいる人が多く見られるため、 企業における組織風土改革や働き方の見直しの促進、ワーク・ライフ・バランスの 意義や重要性の周知啓発を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(2)イ◆男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりの促進(P71)】</p>
<p>地域住民による廃棄金属回収作業を定例化してはどうか。</p> <p>家電商品や金属商品が粗大ごみとして廃棄されているが、これらは それぞれの素材に分解すれば貴重な金属として再利用できる。コミュニ ティセンターや自治会館で月に2～3日の金属リサイクルデーを 設け、地域住民による分解作業と金属回収業者をつなぐ仕組みを行政 中心で構築してはどうか（売り上げは住民（自主防災会等）と行政で 分配）。高齢者の地域参画、まちの美化、リサイクルの活性化などを 是非考えて欲しい。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>県民総参加の3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進による、資源循環の促 進と廃棄物発生の抑制を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(2)ウ◆低炭素・循環型社会の形成(P73)】</p> <p>使用済小型家電やその他の家庭から出る廃棄物は市町ごとに回収種別や方法が決 められており、地域によっては自治会や環境衛生団体等が率先して分別回収や地域 の美化活動を行っています。</p>
<p>風力、太陽光、地熱、波力、水力など自然エネルギー活用のための 研究や導入を推進し、エネルギーの地産地消、高効率化を促進するべ き。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に対する支援、普及啓発や、スマー トグリッド等の地域のエネルギー資源の有効利用の促進など、エネルギーの地産地 消の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(2)ウ◆エネルギーの地産地消の推進(P74)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>静岡空港から中国人が多く来日しているので、その人たちにもっとお茶をアピールするべき。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>新たな拠点施設の整備や「世界お茶まつり」の開催による茶文化の情報発信などによる「茶の都」づくりの推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【2-1(1)イ◆将来にわたって持続可能な競争力のある農業構造の構築(P32)、3-2(1)ア◆魅力ある新たなまちづくりの推進(P79)】</p> <p>また、外国人に人気のある「お茶の郷」や「玉露の里」等のお茶関連施設を組み込んだ周遊コースの造成等を促進していきます。</p>
<p>韓国では、高速道路の料金所でコーヒーをドライブスルー形式で購入できる。静岡県内のサービスエリアなどで、お茶のドライブスルー無料サービスを実施してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>「茶の都」づくりの推進を総合戦略に位置付けており、ご提案のドライブスルー無料サービス等の具体化については、今後検討していきます。</p>
<p>人の集まるイベントや行楽施設をつくれば、人を呼び込み、地元の雇用を生むことができると思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>芸術、文化等の本県の資源を活用した特長的なイベントや、大規模スポーツイベントの展開を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆賑わいを創出するイベントの展開(P81)、3-2(2)ア◆静岡県の知名度の向上と外国人観光客の来訪滞在・周遊の促進(P85)】</p>
<p>現在行っている市町村駅伝、大道芸ワールドカップのように、静岡県独自のスポーツ・芸術・文化の大会等を開催してはどうか。</p>	<p>集客力のある民間施設の誘致が促進されるよう、本県の魅力の効果的な発信等に努めていきます。</p>

意見	意見への対応
<p>駿府城天守閣の再建、静岡中央体育館と中央市民文化会館の廃止及び東静岡への移設、同施設跡地の大型バス駐車場、江戸時代風ショッピング施設、遊戯施設を設置してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>地域のまちづくりは、住民に最も身近な市町が主体的に行っており、県は都市計画法や中心市街地活性化法等の関係法令を勘案しながら、市町や商工団体と情報交換を行っています。今後も、県内商業の動向の把握に努めていくとともに、大規模商業施設の誘致の可能性について検討していきます。</p>
<p>小さい子どもからお年寄りまで楽しめるテーマパーク、大型量販店などを誘致し、人を集めてはどうか。</p>	
<p>静岡県は、高速道路が2本も走っているので、他の県からも人を呼べる大型ショッピングセンターやコストコなどのような魅力ある店を誘致することができれば、観光客も増えるし、若い人が住みたいと思う県になると思う。</p>	
<p>若者の県外転出を抑制するため、民間の商業施設、水族館などレジャー施設等の積極的な誘致が必要だと思う。</p>	
<p>海浜公園や市営のキャンプ場など非常に魅力的なものがあるので、それがどこにあって、どのようなものか、わかりやすいパンフレットやホームページの改善、家族で使いやすいものにするための利用規約の変更などを行って欲しい。</p> <p>また、漁港内釣り禁止場所が増えており、静岡という好環境にしながら、子供に安心して釣りをさせ、自然や生き物に触れ合う貴重な機会が減少している。大規模でなくて良いが、トイレを備えた簡易釣り施設(足場のようなもの)をつくって欲しい。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>情報提供や利用規約の変更については、それぞれの管理者と調整し、対応を検討していきます。</p> <p>漁港や港湾において、管理運営に支障となるエリアについては、一般者の立ち入りを規制している一方、緑地や人工海浜などの整備を進めており、子供が自然や生き物に触れ合える場など、地域のニーズを反映した環境整備を図っていきます。特に海釣りについては、熱海港、浜名港、焼津漁港において海釣り公園を設定しているほか、清水港においても釣りイベントの実施に伴い日の出地区の保安制限区域内の一時開放を行っています。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>ふじっぴーを生かし、人が行きたい、見たいと思えるようなまちづくりをすれば人口は増える。様々な人の意見を取り入れながら、皆が魅力的だと感じるまちづくりをしていくことが必要。静岡の個性や伝統を守りながら、住んでいることを誇りに思えるような静岡になれば良い。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>本県を代表する「学術・文化・芸術・スポーツ」施設が集積する東静岡から名勝日本平、三保松原に広がる地域や、景観や観光資源を活かした空港周辺地域の魅力あるまちづくりの推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆魅力ある新たなまちづくりの推進(P79)】</p> <p>その他の地域についても、市町や地域住民と連携し、魅力的なまちづくりを検討していきます。</p> <p>県の施策を県民に分かりやすく伝え、親しみを持ってもらうため、ふじっぴーのイラストや着ぐるみを使用するだけでなく、要望のあった市町、民間団体にも活用してもらい、ふじっぴーを通じて広く県の魅力を発信しています。</p> <p>移住・定住施策を通じ、県内移住者から刺激を受け、地域の魅力を再認識した地域住民による、自らの活力ある地域づくりを促進していきます。</p>
<p>富士山を守りつつ観光に利用するため、2合目にシャトルバスセンターをつくり、これより先にはバスでしか行けないようにし、入山者数を把握・管理し、ここで入山料も徴収するシステムしてはどうか。閑散期である冬季には、このバスで富士山を周遊できる形にし、世界遺産を安全に観光できるようにしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>現在、富士宮口については、夏期開山期間中連続してマイカー規制を実施し、2合目の水ヶ塚駐車場でシャトルバスへの乗換えを行い、富士山保全協力金の受付も行っていきます。他の登山口への応用についても、関係機関とともに検討していきます。</p> <p>なお、富士山周遊の旅行商品等は通年で催行されており、御提案の取組は、必要に応じて今後検討していきます。</p>
<p>自然、歴史、食文化、伝統等を組み合わせて、観光資源として活用すべき。県内には、神社仏閣も多く、富士山、浜名湖、天竜川、遠州灘、南アルプス、伊豆半島、温泉等の資源にも恵まれている。魅力ある観光インフラの整備をさらに進め、地域ならではの「そこにしかない</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>世界遺産富士山、伊豆半島、南アルプス、浜名湖等の本県の誇る世界水準の資源を活用した、多彩で魅力あふれる観光地域づくりの取組と、静岡県の魅力発信サイトの開設や海外向けコンテンツの作成など、“ふじのくに”静岡県の有する魅力の全</p>

意見	意見への対応
い」、「これしかない」ことを創造し、発信していくべき。	<p>国、世界に向けた効果的な発信を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆世界水準の魅力を核とした観光地域づくり(P76)、3-2(1)ア◆ふじのくにの魅力を情報発信の強化(P82)】</p>
<p>静岡県は、温暖な気候と富士山に恵まれ、本州のほぼ真ん中に位置し、観光に適しているにも拘らず人が集まらないのは、行政による富士山・東海道・徳川家康・伊豆を軸とした観光展開が非常に弱いからだと思う。宮崎や高知のように、積極的に行政がPR展開をして欲しい。</p> <p>県が先導して各市町村をまとめ、県全域での観光ツアーを企画することが必要だと思う（観光サイトの開設、観光ガイドとラリー仕様のアプリの用意、スタンプ状況に応じた記念品など）。</p>	<p>空港等交通結節点の二次交通の充実や、空港と直結した新幹線新駅の実現に向けた取組の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(2)ア◆静岡県の知名度の向上と外国人観光客の来訪滞在・周遊の促進(P85)、3-2(2)ア◆海外との交流基盤等の充実(P88)】</p>
<p>「新幹線」と「東海道本線」に「富士山静岡空港」と「東名高速」「新東名高速」を連携させる事が観光客誘致のために必要。</p>	
<p>静岡空港は、便が少ないなどの理由から、静岡から羽田空港や名古屋空港等にバスで行かなければならず、県内の修学旅行生が静岡空港を利用できていないという状況がある。中国便を増やすより、県内の学生をはじめ住民が利用しやすいフライト時間を模索して欲しい。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>県内の修学旅行生の利用も見据え、県民の利便性の高いダイヤの実現に向け、航空会社との交渉等に取り組んでいきます。</p>
<p>外国からの旅行者向けの観光スポットを旅行社と共同で開発する。観光スポットとして合唱コンクールのようなイベントもありではないか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>国内の旅行企画会社等との人的ネットワークの強化による旅行商品の造成や、本県の観光資源等の特性を踏まえた魅力的な体験プログラムの造成の促進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(2)ア◆静岡県の知名度の向上と外国人観光客の来訪滞在・周遊の促進(P85)】</p>

意見	意見への対応
<p>草薙総合運動場は、陸上競技に特質化されたアリーナ競技場に、西ヶ谷総合運動場はオリンピック選手育成が可能な水泳施設と体・メンタルの育成施設に、清水区総合運動場はサッカー施設として総合開発した上、サッカーの世界クラスの人材育成施設を建設し、周辺インフラと合わせ、まち全体の価値を高めてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>草薙総合運動場は、陸上競技場、野球場、体育館等の各運動施設が集合した総合的な運動公園であり、県民スポーツ振興の拠点として、一層の活用に努めていきます。</p> <p>西ヶ谷総合運動場内の県立水泳場は、各種水泳競技のオリンピック選手を育成する環境が整備されており、トップ選手、チームの合宿にも利用されているため、今後も利活用の推進に努めていきます。</p>
<p>東静岡駅前は、北口は大道芸の通年施設と市民文化会館を設置し、文化・芸術施設を集約する。南口は、グランシップとその補完施設を集約し、講演や展示会、イベントやフェアの開催拠点として、役割分担させて活用してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>東静岡駅南口県有地における本県の文化力を発信する「文化力の拠点」施設の整備の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)ア◆魅力ある新たなまちづくりの推進(P79)】</p> <p>駅周辺の地域づくりについては、北口も含めて、人の流れに回遊性が生まれ、賑わいのある地域となるよう、関係機関等と連携を取りながら取り組んでいきます。</p>
<p>東静岡駅を核として、草薙・日本平・久能・大谷・小鹿地区をシャトルバスで結び、エリア観光できるような仕組みをつくり、清水駅を核として、エスパルスドリームプラザ・清水総合運動場跡地のサッカー場・世界遺産三保エリア・東海大学水族館までを、LRT（次世代型路面電車システム）で結ぶ。また、静岡駅を核として、中央体育館跡地のショッピングモール・裁判所・市民病院・浅間大社・駒形地区・西ヶ谷エリアへと結ぶLRTで結び、市民の足と観光者の回遊性を確保し、地域一体の憧れを呼ぶ地域づくりを推進してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>東静岡から名勝日本平、さらには三保松原に広がる地域に集積する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設間の連携強化等による魅力の向上を総合戦略に位置付け、各施設の回遊性を高める取組を進めることにより、面としての魅力を高めていきます。その他についても、市や関係者と連携・調整し、取組を検討していきます。</p> <p>【3-2(1)ア◆魅力ある新たなまちづくりの推進(P79)】</p>
<p>沼津～浜松間にレストラン、喫茶室、カラオケ等を備えた観光列車を定期的に運行してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>県内の鉄道事業者によるお座敷列車の運行事例もあり、このような取組を商談会等でPRするなど、誘客の促進に取り組んでいきます。</p>

意見	意見への対応
<p>県として、サミット招致、世界遺産となった富士山へ観光客を招くために、真のグローバル化を目指す必要がある。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>来訪する外国人をおもてなしするため、交通事業者、宿泊施設等の観光産業の担い手を対象とした研修会や通訳案内士の養成を行うなど、おもてなしを支える観光人材の育成を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-2(1)イ◆おもてなしを支える観光人材の育成(P83)】</p> <p>観光交流の拡大や教育・文化交流の促進を通じた多様な価値観の理解や、多文化共生意識の定着による国際化の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(2)ア◆地域の国際化の推進(P143)】</p>
<p>留学生の学費の経済的支援は科学、医療の分野にする等、あくまでも静岡県民にとって有益な学業に限定して欲しい。日本語習得だけの目的での留学（専門学校も含め）は支援の必要はないと思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>海外から優秀な人材を確保するため、県内高等教育機関と海外の大学との大学間交流の促進や、ふじのくに地域・大学コンソーシアムを通じた留学生と地域社会との交流等の滞在中のサポート、リクルートから帰国後のフォローまでの「入り口から出口まで」の一貫した留学生支援の充実を図っていきます。</p>
<p>県内の若者に静岡の魅力を伝えるため、地元の子どもたち向けに、OJTで、育成、加工、販売などの起業の教育を実施し、若者の起業精神を育み、社会人としての活躍の場を拓げる支援が必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツなど実学の奨励による高度職業人や多様な分野で社会や地域をリードする人材の育成や、農業体験活動や就業体験、産業界からの特別講師の招へいなどによるキャリア教育の充実を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-3(1)ア◆社会の第一線で活躍できる人材の育成(P95)】</p>
<p>企業が欲しい人材を一人でも多く育成するため、ハイテクノロジーを学べる学校や学科を増やして欲しい。まずは、数学オリンピック（ジュニアも含む）を県を上げて普及するなどして、数学日本一の県を目指し、優秀な頭脳を県を挙げて支援して欲しい。教育は投資であり、未来の静岡を担う子ども達を信じて人、もの、金すべてを投入する必要があると思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>理数教育の更なる充実を図るサイエンススクールの指定などによる得意分野を生かして活躍できる人材の育成や、県内大学への「飛び入学」の導入の働きかけの推進など、次代を担う人材の育成を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-3(2)ア◆次代を担う人材の育成(P98)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>大学のレベルアップ支援に取り組むことで大学生の流入を促進する事を考えてはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>高校と大学の教員等の意見交換や共同研修の機会などを通じた、高校と大学の連携・接続強化の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-3(2)ア◆次代を担う人材の育成(P98)】</p> <p>また、公立大学法人への支援を通じた、静岡県立大学及び静岡文化芸術大学の教育・研究機能の充実や、ふじのくに地域・大学コンソーシアムへの支援を通じた、単位互換授業等の教育連携や共同研究の実施等の大学間連携の推進など、高等教育機能の充実を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-3(2)イ◆大学間等連携等による高等教育機能の充実(P100)】</p>
<p>理工系の学生を増やし、企業が求める人材を育成してはどうか。</p> <p>静岡の若者人口減少の原因は、高等教育機関の貧弱さにある。伝統のある大学は各界に卒業者を大量に送り込んでおり、就職その他に際して融通が利くのは厳然たる事実。</p> <p>人口減少を食い止めるには、大学卒業後の雇用を確保することを前提に、現在ある大学のレベルアップを図るとともに、県外大学のキャンパスの誘致、大学の 신설により、18歳以上の県外進学(及び卒業後の就職)を抑制して若年人口を県内に定着させ、県外からも学生を呼び込む必要がある。</p> <p>専門学校や大学を、田舎の過疎地(伊豆半島等)に増設・誘致する。土地購入価格が安いという大学側のメリットもある上、学校設置による地元の雇用(仕事)も増え、人口も増えると思う。</p> <p>大学進学で多くの若者が県外に出て行き、そのまま県外で就職することが多い。県内に大学を設置するべきではないか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>18歳人口が減少していく中、大学、学部の新設については、安定的な大学経営という観点から大変厳しい状況にあり、社会のニーズ等を的確に把握しながらその可能性を分析・検討していきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>保育園・幼稚園・小学校・中学校の給食費を無料化してはどうか。</p>	<p>⇒現状では課題があり、対応困難 給食費の無料化は、市町等の大幅な予算増の必要が生じるなど、現状では課題が大きいと考えます。</p>
<p>通学区を廃止し、保護者の責任でどこの学校でも通学できるようにしてはどうか（通学費は一部補助）。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討 県教育委員会では、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づき、市町教育委員会に対して、子どもの発達段階に応じた適正な通学距離を指導していますが、県民のニーズに応じた柔軟な対応を、必要に応じて検討していきます。</p>
<p>全国第一位の健康で長生きできる環境づくりを推進することが必要。病気になりにくいようにするために、健康器具の購入費補助など、健康づくりを経済的な側面からも支援して欲しい。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討 県民一人ひとりが自身の生活習慣を見直し、改善を図りながら健康的な毎日を送る上で、健康器具の購入補助等の実効性や必要性については慎重に検討する必要があると考えます。</p>
<p>認知症についての啓蒙、セミナーの開催、（認知症予防に効果的とされる）高齢者同士あるいは異世代の人的交流を促す活動への支援、啓発広告の発行など、生活習慣の改善を県全体で促し、高齢者本人だけでなく 家族にも、認知症になる前から長期的に問題意識を持っていただけるような環境整備が必要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映） 介護マークの普及促進などの総合的な認知症施策の推進を総合戦略に位置付けており、今後も、ふじのくに長寿社会安心プランに基づき、啓発イベントや研修、広報、あらゆる年代での認知症サポーター養成など、認知症の正しい理解と予防の推進に取り組んでいきます。 【5-1(1)ウ◆地域包括ケアの総合的な推進(P139)】</p>
<p>莫大な医療費を削減し、その分の予算を子どもの育成にまわす必要がある。個人病院での過剰な薬の投与をやめる。強い薬はなるべく飲まない方が体に良いことであり、医療費削減にもつながる。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む 医療費については、医療保険制度や診療報酬制度等、国が制度設計を行っています。本県においては、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき医療費適正化計画を策定し、住民の健康の保持と医療の効率的な提供の推進に取り組み、医療費適正化を図ることとしています。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>健康長寿を目指すには高齢化する前からの対策が重要であり、人間も持つ自然治癒力を高める施策が重要。薬の安易な処方、健康保険料や介護保険料の負担増を招く。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映） 生活習慣病の予防対策の一層の充実を図る「健康寿命日本一の推進」を総合戦略に位置付けました。 【3-4(1)ア◆健康寿命日本一の推進(P106)】</p>
<p>高齢者層の移住施策を推進する前提として、医療、福祉体制を充実させる必要がある。高齢化問題を総合的に考えることにより、首都圏からの高齢者層の受け入れ、福祉分野の雇用の場の拡大も期待できる。高齢者層の大量発生の問題を抱える東京都などと連携して進めることも一案。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映） 医療、福祉体制の充実については、地域の状況に合った地域包括ケアシステムの構築や、医療介護人材の確保育成・資質向上、医療介護に関係する多職種連携の強化による在宅医療体制の充実などを総合戦略に位置付けました。 【5-1(1)ウ◆地域包括ケアの総合的な推進(P139)、5-1(1)ウ◆医療と介護の総合確保・在宅医療等の強化(P141)】 また、自治体間連携による特別養護老人ホームの整備に取り組むなど、地域住民の意向や地域の実情を踏まえた取組を促進していきます。</p>
<p>高齢者世代の中には車を運転しなくてはいけない職業や居住地で生活する人がいるが、皆が安心して生活できるよう70歳以上には安全に運転できるかの認知等のチェックを定期的にして欲しい。</p>	<p>⇒現状では課題があり、対応困難 道路交通法では、75歳以上の者が運転免許を更新しようとする際、認知機能検査の受験を義務付けていますが、これを70歳以上に引き下げるには法改正が必要です。 なお、認知機能検査を希望する場合は、高齢者講習を実施している自動車教習所において、有料ではありますが、任意の検査を受けることができます。</p>

4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>静岡県は合計特殊出生率を最低でも「2」以上とすべき。</p> <p>子どもの数を増やすため、多子世帯への優遇施策を多面的、多角的に展開することが必要。また、前提として結婚に夢を持てる環境づくり、子育てしやすい環境整備が必要。</p> <p>福井などの日本人の子どもを増やした他の自治体のケースを参考にしているかどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>県民の2人から3人の子どもを持ちたいという希望をかなえることを目指し、「合計特殊出生率2」を成果指標に掲げています。また、中学3年生までの医療費を補助する市町への助成など、子育て家庭の経済的負担の軽減を促進する取組を総合戦略に位置付けました。</p> <p>若い世代の結婚気運を醸成するとともに、生活基盤の安定化、次世代育成に向けた仕事と子育ての両立支援など、結婚を望む男女が家庭を築き、出産の希望をかなえる環境整備に取り組んでいきます。また、「子育ては尊い仕事」という理念に基づき、社会全体で子育てを応援する取組や、保育需要の拡大に対応する保育サービスの量的拡大など、子育て支援の充実を図っていきます。</p> <p>他の自治体の先駆的な事例については、情報収集を行い、参考としていきます。</p> <p>【4-2(1)ア◆結婚や出産を望む人が希望どおり結婚して家庭を築き、子育てができる環境の整備(P114)、4-4(1)ア◆地域の需要を踏まえた保育サービスの量的拡大と入所希望にいつでも対応できる取組の推進(P121)、4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>子供を増やすには、世帯あたりの収入を増やす必要がある。そのためには、女性もフルタイムで働き続けられる環境を整えることが必要。</p> <p>子どものいる女性がフルタイムで働くために、残業、出張、早出などの働き方の配慮、公立の保育園や幼稚園に朝6時から夜9時くらいまで、土日も預けられる体制をつくる必要がある。県内のどの地域でもそうしたサービスが受けられる体制を整備することが重要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>企業経営者による組織風土改革や働き方の見直しの促進、関係機関との連携等によりワーク・ライフ・バランスの普及を図るとともに、部下の育児と仕事の両立を支援する管理職の発掘や子育てしやすい企業の取組の情報発信など、次世代育成に向けた企業における意識改革を総合戦略に位置付けました。</p> <p>また、多様な働き方に対応した保育サービスが提供できるよう、市町と連携して取り組んでいくことにより、地域の実情に応じた保育・子育て環境づくりを促進していきます。</p> <p>【4-1(1)ア◆男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりの促進(P110)、4-4(2)ア◆多様な保育サービスの充実(P122)】</p>
<p>事業内保育所を設立する企業や育児休暇取得率の優良な企業を優遇するなどして、子育て支援を推進してはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>仕事と子育ての両立を図るための職場環境づくりや男女共同参画社会づくり等に積極的に取り組んでいる企業を静岡県次世代育成支援企業（こうのとりカンパニー）として認証し、認証企業に対する優遇措置を行っています。</p> <p>また、子育てに優しい企業のユニーク戦略を紹介する冊子の作成や優れた取組を行う企業を「ふじのくに子育て応援リーディングカンパニー」として表彰しています。今後とも、企業の次世代育成支援に関する自主的な取組の促進を図っていきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>子どもを産むには、第一に生活が安定している必要がある。現代では、国の企業優遇施策により、パート・アルバイト、非正規社員が増え、家庭を持つことも難しくなってしまった。</p> <p>この状況を打開しなくては、若者や子どもは減少する一方である。若者を使い捨てにせず、きちんと正社員として雇い入れるよう、採用の時点で会社に何らかの約束（条件）、責任を負わせるようにしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>若者の正社員化や職場定着の支援など、安定した雇用で生活基盤を築くための取組を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-2(2)ア◆若者の就業支援(P115)】</p>
<p>正規雇用を増やす取組として、収入の安定を図らないと、子どもを持つという選択は難しく、人口減少を止めることはできないと思う。</p>	
<p>正社員化が進めば労働者のモチベーションが上がるだけでなく、失業率の低減と県税の安定した増収が期待できる。県には是非、非正規雇用の減少に取り組んで欲しい。非正規雇用者の社員登用制度を持つ企業には県が助成金を支給したり、それぞれの企業規模により年間の登用人数を定め、達成しない企業にはペナルティーを設けるなどの厳しい措置があっても良いと思う。</p>	

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>正社員化を進めるため、県の訓練機関で技術を身に付けた求職者の積極的雇用を県から企業へ働きかけて欲しい。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>県技術専門校の若年者訓練（主に高卒対象）修了者については、企業と連携を密にし、積極的雇用を働きかけています。今後も全修了者が就職につながるよう支援していきます。</p> <p>離職者等については、民間訓練実施機関に委託して行う訓練の際、巡回就職指導員を設置し、ハローワーク等と連携した求人情報の収集・提供、職業相談等を行うことにより、早期再就職を支援していきます。</p>
<p>結婚手当金の支給(例:初婚のみ、35歳までの男女1組30万円支給)、結婚相談所の充実により、結婚支援を行ってはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>結婚への憧れや関心を高め、若い世代への結婚気運を醸成する取組や、妊娠・出産に関する正しい知識の習得など、早期に将来設計を組み立て、結婚を前向きに捉えることができる機会の創出を総合戦略に位置付けました。また、市町や企業等と連携し、企業間で結婚を支援するための仕組みづくりを総合戦略に位置付け、効果的な支援策について検討を進めていきます。</p> <p>【4-2(1)ア◆結婚や出産を望む人が希望どおり結婚して家庭を築き、子育てができる環境の整備(P114)】</p>
<p>未婚の若者に結婚に向けた出会いの場を提供することが重要。</p>	
<p>県主催で各市町村持ち回りの婚活イベントを定期的を実施してはどうか(男性参加資格は開催市町村在住、女性は自由)。</p>	
<p>結婚を希望する若者からどんな環境なら結婚に踏み切れるかなど意見を聞き取り、結婚したいときに結婚できる環境づくりに取り組んではどうか。</p>	

意見	意見への対応
<p>日本人の出産や不妊についての知識レベルは、OECD諸国の中でも最も低い。これらの知識は、男女ともに本来なら10代から知るべき知識だと思う。若者が正しい知識を身に着け、「適齢期」での結婚や子育てに繋げるため、結婚や出産に係る知識を伝えていくことが必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえて取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>妊娠・出産に関する正しい知識の習得など、早期に将来設計を組立て、結婚を前向きに捉えることができる機会の創出を総合戦略に位置付けました。</p> <p>また、小・中学校や高等学校において、「保健体育」「家庭」等の教科をとおして、必要な知識などを指導しています。</p> <p>【4-2(1)ア◆結婚や出産を望む人が希望どおり結婚して家庭を築き、子育てができる環境の整備(P114)】</p>
<p>「母親に優しい国」ランキングでは、上位5位をノルウェーはじめ北欧諸国が独占し、日本は、世界179か国中32位。北欧諸国や出生率の高いフランスについて、研究チームを作り、視察に行き、真似できるものは取り入れればよいと思う。または、北欧やフランスから専門家呼び、静岡県の取組の評価をしてもらい、10年契約でコンサルタントをしてもらうことも有効ではないか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>先進諸国の取組を学び、効果的と考えうる施策を反映していくことは重要ですが、海外視察や海外の専門家によるコンサルタントの必要性については、国民性の違いなどを踏まえて慎重に検討する必要があると考えます。</p>
<p>墮胎は、母体保護の理由でしかできないはずなのに、日本は墮胎数が多い。現在、墮胎により生まれてくることができない子どもをこの世に生み出し、育てていくための支援等を検討してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>若い世代の生活基盤の安定化や、妊娠期からのワンストップ相談支援体制の充実、安心して出産できる環境の整備などに取り組んでいきます。</p>
<p>婚姻関係のない未成年の墮胎は、その後の妊娠に影響が出るため、新たな命と母体を守る観点から、名古屋のように妊娠時からの里親制度を取り入れるといいと思う。また、育てられない妊婦の扱いも産むか墮胎するか聞いて産むなら里親制度を利用できればいいと思う。</p>	<p>新生児の里親への委託については、愛知県の事例を参考に、メリット・デメリットを踏まえた慎重な検討が必要であると考えます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>妊婦健診の助成が十分でないことで、妊婦が必要な回数の検診を受けず、トラブルに気付くのが遅れてしまう危険性もあることから、妊婦健診に対する助成額、回数の拡大が必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>母体や胎児の健康確保を図り、また妊娠・出産にかかる経済的不安を軽減するためにも妊婦健康診査に対する助成は重要です。</p> <p>国が示している妊婦に対する健康診査の望ましい基準では、妊娠初期から出産までに14回程度とされており、県内全市町が14回分の健診を補助していますが、妊娠届出の遅れや多忙であるとの理由から14回の健診を受けない妊婦もいるため、今後も健診の重要性について引き続き啓発していきます。</p>
<p>産婦人科医、小児科医の増員により出産支援を行う必要がある。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>産科医・小児科医をはじめとした医師を確保するため、全国最大規模となる医学修学研修資金の活用を行っています。とりわけ、産科医については、医師に分娩手当等を支給する医療施設への助成や、若手産科医の就業継続と女性産科医の復職への支援を行うなど、産科医の勤務環境の改善を行っています。なお、分娩手当等の支給による産科医等の勤務環境における処遇改善の取組を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-3(2)ア◆周産期医療体制の確保、新たに分娩を取り扱う医療施設の増加と産科医療への理解の促進(P119)】</p>
<p>現在静岡市内の小学校に子どもを通わせているが、集団登校がない。1～2週に1回くらいは集団登校をすると、転入者が地域に溶け込みやすいと思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>集団登校については、メリット、デメリットを踏まえ、地域の市町教育委員会・学校・家庭・警察等の意見を収集した上で決定する必要があり、地域の実情に応じ実施していきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>子供を育てていくには、精神的にも経済的にも大きな負荷がかかる。少しでも若い方の負担を少なくできるように乳幼児の医療費を無料にしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>中学3年生までの医療費を補助する市町に対する助成を総合戦略に位置付け、子育て家庭の経済的負担の軽減を図っていきます。</p> <p>なお、制度の持続性の担保と適正受診を図るため、一部自己負担をお願いしています。</p> <p>【4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>
<p>夫婦共働きの現代において、祖父母、元気な地域の高齢者による子育てサポートが必要。例えば孫を経済的な面でも面倒見ているような祖父母については、税制面で優遇するなどの施策も考えるべき。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>子育て家庭等が、社会のあらゆる方々から大切にされていることを実感できるよう、「ふじさんっこ応援隊」による様々な活動を“見える化”するとともに、子育てを応援する活動のさらなる拡充を図る旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>

意見	意見への対応
<p>高齢者や失業者、子育てを終えた主婦などを活用し、若い夫婦が子供を産みやすい環境を整えれば、全国から若い日本人が「静岡県は働きやすく、結婚・出産・子育てしやすい。つまり住みやすい」と集まることになる。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>「子育ては尊い仕事」という理念を浸透させ、子育て家庭を社会全体で応援する気運の醸成に向けた取組を総合戦略に位置付け、地域における子育て支援を促進していきます。</p>
<p>「静岡県は子育て支援の環境が豊かで、子育てに対する住民の協力的意識も高く、県全体で子育て支援の取組が進んでいる」という口コミや評判が広がっていけば、若者の人口流入が増加していくと思う。</p>	<p>さらに、シニアクラブにおける各市町の放課後児童クラブや子育て支援拠点などとの交流の促進を総合戦略に位置付け、次世代を育てようという意識の定着を図っていきます。</p>
<p>県と民間の協力により、幼児教育の有資格者を集めて活用し、待機児童を減らし、女性の社会貢献を後押しするような仕組みがあると良いと思う。</p>	<p>【4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>
<p>高齢者のボランティアなど地域人材を活用し、公民館や廃校を利用した幼児保育も検討して欲しい。</p>	
<p>シルバー男性には遊びの講師や学習の教師等として学童保育に積極的に参加して欲しい。賃金は親と市、県から支出すれば良いと思う。</p>	
<p>高齢者の活躍、子育て支援の観点から、保育所、幼稚園、老人ホームが同じ建物にあり、キッズサポーターとして高齢者等が「おじいちゃんおばあちゃん先生」となるという取組があると良いのではないか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>共生型福祉施設など、年齢や障害の有無に関わらず地域にある身近な高齢者施設等で垣根のないサービスが受けられる「ふじのくに型福祉サービス」の推進を総合戦略に位置付けました。</p> <p>サービスの一つとして、誰もが自由に立ち寄ることができる「居場所」の設置を推進しており、「居場所」では高齢者と子どもの交流も想定されることから、子育て支援などに効果が認められています。今後も高齢者などの活躍や地域交流の場である「居場所」の普及・啓発に努めていきます。</p> <p>【5-1(1)ウ◆地域包括ケアの総合的な推進(P139)】</p>

意見	意見への対応
<p>保育士の増員、保育園等の増設により、子育てしやすい環境を整備する必要がある。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>年度途中に入所する0～2歳児に対応するための保育士を配置する市町への支援や、市町の子ども・子育て支援事業計画に基づく保育所や認定こども園の整備及び小規模保育事業所の設置に対する支援を総合戦略に位置付け、地域の実情に応じた保育・子育て環境づくりを促進していきます。</p> <p>【4-4(1)ア◆地域の需要を踏まえた保育サービスの量的拡大と入所希望にいつでも対応できる取組の推進(P121)、4-4(2)ア◆多様な保育サービスの充実(P122)】</p>
<p>認定こども園の役割を明確化し、認定こども園への移行を促すため、保育料を無料にするなど、幼稚園との差別化を図ってはどうか。また、「静岡県で育てばいい子に育つ」と言われるよう、地域、家庭ぐるみで幼少期から情操教育を行うよう県として教育方針を打ち出してはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今年度、ふじのくに少子化突破戦略事業により、県内各市町の状況を踏まえ、効果的な施策を検討していくこととしており、この中で、保育料減免の効果などについても研究していきます。</p> <p>地域とともにある学校づくりにおいて、地域との関わりの中で幼保小中連携を推進し、目指す子ども像を共有して取り組んでいきます。</p>
<p>公営住宅や空き家の貸し出し、住宅費の補助により、子育て世帯の生活を支援してはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>県営住宅においては、建替えの際に子育て世帯を含めた多様な世帯に対応した住宅を建設し、募集の際には子育て世帯の優先入居を実施するとともに、入居者の収入に応じた家賃設定とし、子育てしやすい環境づくりに努めています。</p> <p>民間賃貸住宅等の空き家については、県、市町、関係業者、居住支援団体と連携し、住宅に困窮している子育て世帯の居住の安定確保への活用を図っていきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>子育て世帯に対する手当を厚くする必要がある。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>児童手当の支給や、中学3年生までの医療費を補助する市町に対する助成により、子育て家庭の経済的負担を軽減する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>
<p>出産数増加対策として、子育て支援の給付金、医療費無償化など経済的な面からのサポートを充実させる必要がある（2人目からは、支給対象期間を延ばすなど）。</p>	
<p>出産手当金の支給（一人目：20万円、二人目：30万円、三人目：40万円）</p>	
<p>祖父母と子育て世帯の二世帯住宅や近居への支援、第3子以降の子育てが子供2人世帯よりも楽になるような支援（保育園に金銭的にも定員枠の面でも入りやすくなる、公共交通や施設、住宅取得における優待など）を実施してはどうか。</p>	
<p>育児手当金の充実（6歳までは、一人目：1万円/月、二人目：2万円/月、三人目：3万円/月、7歳以上は現状維持）が必要。</p>	

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>母子家庭の子どもが学生の間は学費、医療費を免除するなど母子家庭の子ども手当を拡充し、他県からシングルマザーを集め、就業し、子育てしてもらい、出生率を上げるというのはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>他県からシングルマザーを集めることは現実的に難しいと思われませんが、ひとり親家庭に対する経済的負担の軽減に向けた支援や、母子家庭等就業・自立支援センターにおける就業・生活相談支援など、総合的な支援を推進する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-4(3)イ◆ひとり親家庭の自立の促進(P129)】</p>
<p>子育て支援として、大学までの授業料の無料化などの大胆な措置をしてはどうか。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>児童手当の支給や、中学3年生までの医療費を補助する市町に対する助成により、子育て家庭の経済的負担を軽減する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>
<p>子どもの病気や残業等こども園や児童クラブだけではサポートできない場面もある。病気の子どもを預けた場合の託児費用への補助金、病児・病後児等を預かる団体を登録し、その団体や利用者に対する支援をするという制度をつくってはどうか。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>市町の子ども・子育て支援事業計画に基づく、延長保育、一時預かり、病児保育の実施に対する支援や市町が運営する「ファミリー・サポート・センター」への支援、アドバイザーの質の向上を図る取組など、多様な保育の推進を総合戦略に位置付けました。</p>
<p>働く世代の女性のために、託児制度の整備をして欲しい。子供の体調が悪く、保育園に通わせられない、誰も預かってくれるあてもなく働く母親達が大勢いる。このような場合に子どもを預かってくれる人材がいると育児を気にすることなく仕事に集中できると思う。</p>	<p>また、中学3年生までの医療費を補助する市町への助成など、子育て家庭の経済的負担の軽減に対する取組や、「子育ては尊い仕事」という理念を浸透させ、子育て家庭を社会全体で応援する気運の醸成に向けた取組を総合戦略に位置付け、地域における子育て支援を促進していきます。</p>
<p>安心して子どもを預けられる先があり、若い世代が2人目、3人目を育てようと思えるような経済的、社会的な支援が必要。また、社会みんなで子育てを応援しようという機運の醸成が必要。行政は、子育て世帯が本当に欲しい支援を的確につかまなければならない。</p>	<p>【4-4(2)ア◆多様な保育サービスの充実(P122)、4-4(3)ア◆子育てが社会的に評価される仕組みの構築と多様な世代が触れ合う機会の拡大(P127)】</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>施設等で暮らす子どもが中学校を卒業後、施設から出されることがないよう、高校、大学進学への支援をすることで、職業選択の幅も広がると思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>児童養護施設入所児童等に対し、小学校から高校生までそれぞれのステージに合わせた学習支援を実施しています。</p> <p>なお、施設等で暮らす子どもに対する20歳から大学等の卒業までの修学を支援する旨を総合戦略に位置付け、将来の安定した自立を図っていきます。</p> <p>【4-4(3)イ◆子どもと家庭を社会全体で支援する取組の充実(P130)】</p>

5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する

意見	意見への対応
<p>親と同居、もしくは、親と近くに住んでいる人間に対して、減税措置をし、独居老人に対しては税額を上げるべき。オレオレ詐欺や、悪質販売の被害者は、高齢者をほったらかしている子供たちがいることが背景にある。過剰なほど行政が消費者を守るために予算を使うより、自分の親を自分が見ている人間を奨励する方が、理にかなっていると思う。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>親と同居・近居している夫婦の方が、親と遠く離れて居住している夫婦よりも、出生する子どもが多い傾向があることから、国の総合戦略においても、「三世代同居・近居の希望に対する実現比率を向上する」ことをKPIとして掲げています。高齢者の見守りをはじめ、子育て支援の観点等からも三世代同居・近居は有効であると考えられるため、今後、国や他自治体の動向を踏まえながら検討していきます。</p>
<p>若者を地域社会にいかに参画させ、若者が生活しやすい環境整備をしていくかが重要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>若者を含む幅広い年代層の参加意欲を高める県内各地の地域活動等の情報発信などにより、住民が参加しやすい地域コミュニティの環境づくりを推進する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(1)ア◆地域における支え合いの再構築(P136)】</p>
<p>人口減少に伴う学校等公共施設の集約化などコンパクトシティの推進などにより、効率的で住みやすいまちづくりが必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>地域の実態を考慮した居住や都市機能の適切な配置・誘導を促進し、利便性が高く、将来にわたり健全な都市経営を持続できる「コンパクトなまちづくり」を推進する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)ア◆コンパクトなまちづくりの推進(P144)】</p>
<p>静岡県はバスの本数が少ない、自宅近くにバス停がないなど、公共交通機関が発達しているとは言い難く、車がないと大変不便。子育て中の若い家族、お年寄りの一人暮らしなど皆が安心して暮らせるためには、市街地中心部から外れた地域に、小規模のスーパーと小規模のメディカルセンター(外来のみでかかりつけ医院になれる規模)が併設してあり、そこに小規模のバスターミナルがあり、さらに無料の駐車場が整備されている、という生活の基盤が必要。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>地域住民の生活を支える公共交通機関の維持、活性化を図るとともに、新たな生活交通手段の導入を支援する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)ウ◆地域に必要な生活交通の確保(P149)】</p> <p>各地域の実情を把握し、生活交通の維持・活性化、地域医療の確保を含め、国や事業者等多様な主体の参画により、住民が安心して生活できる環境を確保し、地域の活性化を図っていきます。</p>

意見	意見への対応
<p>高齢化社会に向けて、電車などの生活交通の不便を解消する必要がある。</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>地域住民の生活を支える公共交通機関の維持、活性化を図るとともに、新たな生活交通手段の導入を支援する旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)ウ◆地域に必要な生活交通の確保(P149)】</p> <p>また、地域のニーズに即した電車・バス等の運行形態、サービス水準等を協議するため、各市町に地域公共交通会議（法定協議会）を設置しています。当該協議会を通して、生活交通のあり方について検討を行ってまいります。</p>
<p>浜松市は、交通インフラが、遠州鉄道、遠鉄バスしかなく、街の中心から離れた所に住んでいる人は、車以外で中心部に向かうのに非常に困難で、免許がない世代の方々は、高額なバス代を払わないと中心部に遊びに行けない。また、車で中心部に行くと、駐車場にとっても困る。地域活性化のため市バスや地下鉄など交通手段の整備、駐車場の整備をして欲しい。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>今後、県、市町、交通事業者等で構成する協議会を設立し、西遠地域の総合的な交通のあり方を検討していく中で、その必要性等を官民一体となって検討していきます。</p>
<p>中山間地域の衰退は特に深刻。農林産業はもとより、安心して居住すること自体極めて難しい状況にある。中山間地域では、公共交通機関の不備を補うため、自家用車等を所有し移動手段を確保することが必要不可欠だが、ガソリンスタンドの廃業撤廃が顕著で、給油所は20年以前の約半数となった。</p> <p>ガソリンだけでなく、灯油やプロパンガス供給の拠点も地域から消え、給油の手段や通院、買い物など、不便この上ない。このような状況では、高年齢層が生活の不便さから、都市部へ移転することは当然。</p> <p>県として、中山間地域の生活の基盤でもある給油所の確保や、自動車税の減免をして欲しい。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>全国のサービスステーション（SS）数は、ガソリン需要の減少、後継者難等により減少し続けており、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への灯油配送などに支障を来すといった、いわゆる「SS 過疎地問題」が全国的に懸念されています。各地域の実情を把握し、生活交通の維持・活性化を含め、国や事業者等多様な主体の参画により、住民が安心して生活できる環境を確保し、地域の活性化を図ってまいります。なお、地域社会の活性化のため、税制度を活用して進めることを幅広く検討していくことは重要ですが、制度設計に際しては、公平・中立・簡素という税の三原則に配慮する必要があります。</p>

意見	意見への対応
<p>都市圏に比べると、静岡は不便さやつまらなさを感じる物足りない地域。休日の行き先は、スーパーやホームセンターしかなく、まさに車があふれているのに対し、駅周辺は閑散としている。駅周辺だけで歩いて物が揃えば、公共交通機関を活用する人も増え、公共交通機関が発達すれば高齢世代は助かる。</p> <p>駅近に映画館や図書館、フィットネス、静岡空港等があるので、公共交通機関の活用を含め、計画的・総合的にまちづくりを進め、若い世代や高齢世代もここに住みたいと思えるまちづくりを推進する必要がある（それを進めていくには、地元企業にしがらみのない人を活用し、第三者の視点を取り入れると良い）。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>利便性が高く、将来にわたり健全な都市経営の持続が可能となるよう、居住や都市機能の適切な配置・誘導によるコンパクトなまちづくりと地域公共交通の再編による、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現を目指す旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)ア◆コンパクトなまちづくりの推進(P144)】</p> <p>住民のライフスタイルの変化などを見据え、生活の質の維持・向上に配慮しながら公共交通、教育施設、医療・福祉施設、商業施設の立地等の戦略を一体的に描くことによる、地域特性に応じた都市機能の集約化の実現を目指す旨を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(3)イ◆都市のリノベーション(P146)】</p>
<p>箱もの、サッカースタジアムをつくっても、建設費用、補修や建替え費用など、借金が増える。それより、東京の上野公園、石神井公園のようなお花見やジョギングを楽しめる公園をつくれば、周りに人が住むと思う。</p> <p>ママ友を作るきっかけ、子供を遊ばせる場所となる公園が周囲に少ないので、各地につくって欲しい。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>都市生活を行う上で、都市生活の快適性や安全性を確保することは不可欠であることから、都市における緑の空間やレクリエーションの場を創出するための市町による都市公園整備を促進していきます。</p>

意 見	意 見 へ の 対 応
<p>道徳・倫理授業の強化、学校・自治体によるボランティアや地域活動、地域と個人の密着を図るためのスポーツ大会等により、郷土愛を育むことが必要</p>	<p>⇒御意見のとおり取り組む</p> <p>各高等学校が道徳教育の全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実に取り組んでおり、倫理の授業については、学習指導要領を踏まえた授業改善等を研究し、成果を研究集会等で周知することにより改善・充実に取り組んでいます。また、各学校が実施・計画する社会貢献活動の概要と受入れ可能な活動を、教育委員会のホームページに掲載するなどして、高校生の社会貢献活動を推進することで、郷土愛を育てる取組を実施しています。</p> <p>義務教育においては、道徳の授業において地域を題材とした資料を活用し、郷土愛の育成を進めるとともに、総合的な学習の時間、特別活動等、全教育活動を通じて道徳教育に取り組み、ボランティア活動への参加や地域との関わりを促進していきます。</p>
<p>空き家の絆ハウス化、子ども・高齢者の活動空間の創設など地域空間の新たな設計が必要になると思う。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む（総合戦略等に反映）</p> <p>県・市町・民間団体が連携して、具体的な空き家の活用方策や流通促進に取り組むとともに、不動産関係団体との連携・協力、掲載対象区域の拡大、検索機能や掲載情報の充実などによる空き家バンクの拡充により、空き家の活用を促進することを総合戦略に位置付けました。</p> <p>【3-1(1)イ◆空き家の活用・流通促進(P66)】</p> <p>また、年齢や障害の有無にかかわらず、地域の誰もが自由に立ち寄り自由に過ごせる「居場所」は、空き家や地区の集会所などが活用され、社会参加、引きこもり予防、子育て支援などの効果が認められていることから、今後も「居場所」の普及等を推進していきます。</p>

意見	意見への対応
<p>中部地域、東部伊豆地域の医療体制の充実が必要。静岡県より人口の少ない石川県や岡山県などにも医大(私立を含む)が2校あることを考えると、県内にもう1校医大があってもよいのではないかと。医大がもう1校できることにより、進学による県外流出抑制にもなる。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>東部地域などへの医学部新設については、国家戦略特区での動きはあるものの、現時点において国は、東北地方で1校の医学部新設を認める方針のみで、医学部新設容認の方針は示されていません。このため本県では、あらゆる機会・方法を捉えて国に本県への医学部新設を提案するなど、今後も粘り強く取り組んでいきます。</p>
<p>地方創生には医療の充実が重要。地域の医療体制の確保なしに新たな創生は考え難い。東部には大学病院がないので、富士常葉、日大三島などに医学部設置してはどうか。</p>	
<p>病院が閉鎖されて医療過疎になるとその地域では高齢者が住めなくなるため、過疎地・限界集落化し、ひいては廃村になってしまう。人口減少克服と併せて、地域医療の問題についても検討が必要。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む(総合戦略等に反映)</p> <p>二次医療圏等ごとの各医療機能の将来の必要量を含めた地域医療構想の策定による、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携の適切な推進を総合戦略に位置付けました。また、団塊の世代が後期高齢者となる2025年、さらには長期にわたり高齢者人口の割合が高まる人口構造の変化を見据え、地域における医療及び介護を総合的に確保していく上で「車の両輪」となる効率的で質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築等を総合戦略に位置付けました。</p> <p>【5-1(1)ウ◆医療と介護の総合確保・在宅医療等の強化(P141)】</p>
<p>公立病院の対応が非常に悪い。人が住みたいと思う魅力的なまちをつくるためには、まずは質、量ともに病院問題を解決する必要がある。</p>	
<p>老人を介護している家族に手当を厚くし、住みやすい町づくりを目指すべき。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>介護保険制度においては、在宅の要介護者の家族に対する給付はありませんが、地域の支え合い体制づくりや介護マークの普及などを通じ、介護する方の負担が軽減されるよう介護しやすい環境の整備に努めていきます。</p>
<p>新富士駅を始発駅とし、沼津駅、伊豆西海岸を通り終点を新下田駅とするモノレール(スカイレール)を建設することを提案する。日本の大きな半島で鉄道が一周していないのは伊豆半島だけ。伊豆半島ジオパークとして世界に向けて伊豆を発信する一方で、南伊豆</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>地域公共交通の観点からすると、南伊豆・西伊豆地域においては、乗客数の減少により、バス事業者の運行する幹線バス路線の単独継続維持が困難な状況であるため、まずはバス路線の維持確保に向けて取り組むことが必要ですが、人口減少、高</p>

意見	意見への対応
<p>や西伊豆は過疎化が問題になっており、東京方面からは下田までしか行くことができない。モノレールが開設されれば、西からの観光客、富士山静岡空港の利用者を伊豆半島へ呼び込むことができる上、伊豆急線が不通となった場合に下田方面からの公共交通網を確保できる。</p>	<p>高齢化が県内 5 圏域の中でも顕著な伊豆半島地域の活性化に向け、半島を周遊できる公共交通の検討を含め、今後、各市町、団体等と連携して施策を検討していきます。</p>
<p>地域の人や観光客に安価な移動手段を提供し、まちの活性化を図るため、県内のどこかの都市に、次世代型の路面電車（バッテリーを乗せた蓄電池型電車、水素型電車）を運行させてみてはどうか。</p>	<p>⇒御意見を踏まえ、今後検討</p> <p>次世代型の路面電車（L R T）は、人と環境に優しい、人口減少・高齢化社会に対応した公共交通として再評価されているところであり、自動車交通や既存交通機関への影響、採算性等も含め、今後、県・市町・交通事業者等で構成する協議会を地域ごとに設立し、地域の総合的な交通のあり方を検討していく中で、その必要性を検討していきます。</p>
<p>静岡を都市部の通勤圏内とし、県外への流出を防止するため、都内への通勤特急等の設定や新幹線の「のぞみ」を県内駅に停車させてはどうか。観光客誘致の面からも「のぞみ」の県内停車は有効。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>J R 東海としては、過密な新幹線ダイヤの中で、一分、一秒でも早く東京と名古屋・大阪間を結ぶことに主眼をおき、県内への「のぞみ」の停車には対応できない事情があるとのこと。関係市町や民間団体等と連携を図り、J R 東海に対し「ひかり」の停車増等の利便性向上を働き掛けていきます。</p>
<p>井川・畑薙・千頭・佐久間ダムの堆砂率を見直し、エネルギー効率を高めてはどうか。既存施設の多くは、建設後50-80年が経過しようとしているため必要ならば改廃する。</p>	<p>⇒御意見の趣旨を踏まえ取り組む</p> <p>井川・畑薙・千頭・佐久間ダムについては、民間事業者の管理するダムであることから、堆砂対策、改廃等については、県民からの意見として事業者に申し伝えます。なお、県が管理する青野大師ダム、太田川ダム、奥野ダムについては、適切な堆砂対策を検討・実施するとともに、長寿命化計画及び中長期管理計画を策定し、効率的・効果的な施設管理を実施していきます。</p>